

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">新しい技術・家庭 家庭分野</p> <p style="text-align: center;">自立と共生を目指して</p>	<p style="text-align: center;">2 東 書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学的根拠に基づいた実験資料や、写真で正しい技能を図示する「いつも確かめよう」を掲載し、技能習得を図れるよう工夫されている。 ・小学校、高等学校との関連が明確化されている。(特に小学校家庭科との系統性) ・授業の流れが見えるように工夫されている。(導入→展開→まとめ) <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスの「問題を解決する道筋」で、全体の流れを具体例とともに示してある。 ・技術分野や他教科との横断的な学びを取り入れている。 ・思考ツールの例により対話を助けて協働を促す工夫がある。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭分野の目標」が写真とともに明記され「何のために学ぶのか」を理解して学習できるように工夫している。 ・各章に「自己評価欄」をもうけ、自己調整能力を高められるよう工夫している。 ・幼児との触れあい体験の様子の写真が充実している。それにより、地域の幼児施設への関心が高まると思う。 ・消費者教育、地域、高齢者との関わり方等、持続可能な社会に向けての工夫がある。 <p><実践的・体験的な活動の工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理のページで、基本的なメニューにプラスしてたくさんのメニューの掲載があり、「やってみよう」という意欲に繋がる。 ・布作品の実習例が作りやすいものが多く、生徒が取りかかりやすい工夫がある。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「プロに聞く！」というページがキャリア教育の要素もあり、学習を深める良い資料である。 ・ビジュアルな資料が良い。(実物大写真、巻末付録、折り込みページ) ・デジタルコンテンツをみることができる。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A B版で理論→実習→参考の流れでレイアウトが構成されている。 ・ユニバーサルデザインを活かしたフォントやカラーを活用している。。 ・1 ページ内の文字と図の配列がシンプルで見やすく、用紙の軽量化にも努めている。 ・プライバシーや人権への細かな配慮がされている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マークや資料を適切に配置して、生徒の学ぶ目的が伝わりやすくなっている。 ・単元ごとに「学習のまとめ」があり自己の到達度がわかり自信と課題をもって次の学習に進むことができる。 	

書名 項目	New 技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する	6 教 図
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ・基礎・基本となる知識及び技能を、「練習題材」を作ることによって学んでいき、「本題材」でアレンジできる工夫がなされている。 ・章ごとに「学習のふり返し」のページがあり、3観点に沿って自己評価しやすい。 ・教科書の構成についての説明ページがあり、学び方の参考になる。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ・問題解決の6ステップが単元ごとに掲載され、考察のための工夫がされている。 ・課題を設定するためのヒントが教科書のページにも明示して促されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ・「メッセージ」「センパイに聞こう」等、学習に関わる、地域や社会で活躍している人の声を取り上げ、実践的な態度を養う工夫がしてある。 ・問題解決的な学習を、手順に沿って繰り返し取り上げ、生活を工夫し、創造する力が身につくよう配慮されている。 ・はじめに「年中行事と私たちの暮らし」という折り込みの資料があり、学びが家族や地域の人々との協働に繋がるイメージが湧くようになっている。 ・消費生活と環境の内容が充実していて、これからの持続可能な社会で実践できる。 </p> <p> <実践的・体験的な活動の工夫> ・「私のアレンジ」「比べてみよう」「どうしてこうなったのかな？」を提示し、自分の課題を設定するときのヒントにしている。 ・「布を使ってつくってみよう」の題材が、身近で利用できそうなもので制作意欲を高める工夫がある。 </p>	
資 料	<p> ・イラストを活用し、活動例と図解でわかりやすく示してある。 ・課題を意識させるため、意図的に図表や資料が挿入されている。 ・図・写真が大きくて見やすく、カラーの色を抑えて目に優しい配色となっている。 ・調理実習の説明が視覚的にわかりやすくQRコードで動画を見ることができる。 </p>	
表記・ 表現	<p> ・視覚的資料が充実しており活動例と図解でわかりやすくしている。 ・ユニバーサルデザインフォントや様々なマークにより、学習内容を伝えやすい。 ・吹き出しの中は、読みやすいところで改行されている。 </p>	
総 括	<p> ・評価を行うことができる場面が適切に設けられている。 ・全体的にユニバーサルデザインに配慮されている。 ・ワークシート的な要素も組み込まれていて指導がしやすい。 ・特に衣生活の実習題材が身近なものが多く制作意欲が高まる。(マスクの掲載が良い) </p>	

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生</p>	<p style="text-align: center;">9 開隆堂</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能に関する内容を易から難とし、確実に習得できる流れにしている。 ・実習のページでは、細部を拡大したりイラストを添えたりしてあり、「振り返り」「生活に生かそう」の欄を設けて知識・技能を定着させるための工夫がなされている。 ・デジタル教科書が指導者用、学習者用と準備されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活の課題と実践」について、日常生活の中から問題を見だし、課題を解決できるようヒントを提示し解決方法を考える手立てが示されている。 ・授業が毎時間アクティブに展開できるようにグループディスカッション、ディベート、グループワーク等のイメージが湧く工夫がされている。 ・中・小連携の具体例があり、思考力・判断力・表現力等の育成計画が立てやすい。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスや全体の学習を概観する内容や学び方を示し、3年間のイメージが持てるよう工夫されている。 ・SDGs、共生社会、伝統文化についてマーク表記され、意識しやすくなっている。 ・社会に視野が広がるよう、多くの資料や先輩からのメッセージが掲載されている。 <p><実践的・体験的な活動の工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい実習ページや使用目的を持たせる制作内容で体験し、実践したくなるよう工夫している。 ・幼児との触れあい体験について写真をたくさん紹介し、イメージが湧きやすい。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・横開きで流れが見えやすいよう見開きで掲載されている。 ・本文と図との相関関係がわかりやすいよう工夫している。 ・食材や手形・足形等、実寸大の写真資料があり、イメージしやすい。 ・QRコードやデジタル教科書があり、学びやすくなっている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大判化し横流れに作業手順を掲載しており、カラーバリアフリーに配慮している。 ・ユニバーサルデザインに基づいた設計で誰にでも使いやすい工夫がある。 ・読み間違いしにくい改行をしており、写真資料が豊富で挿絵もシンプルで見やすい。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒用教材として「技・家ノート」「技・家ハンドブック」「デジタル掛図」があり学びやすい。 ・学習指導書が充実していて教員がしっかりと授業の準備ができる。 ・デジタル教科書が準備されていて、これからの学習ニーズに対応している。 	